

Symantec™ Desktop and Laptop Option 7.6

説明ファイル (README)



本書に記載のソフトウェアは使用許諾契約のもと提供されており、契約条件の範囲内でのみ利用できます。

Symantec DLO 7.6の文書バージョン

法的通知と登録商標

Copyright © 2014 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、NetBackup は、Symantec Corporation
または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。
その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このシマンテック製品には、サードパーティ（「サードパーティプログラム」）
の所有物であることを示す必要があるサードパーティソフトウェアが含まれている場合があります。
サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。
本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様
が有する権利または義務を変更しないものとしします。
サードパーティプログラムについて詳しくは、この文書のサードパーティの商標登録の付属資料、またはこの
シマンテック製品に含まれる TRIP ReadMe File を参照してください。

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリパースエンジニアリングを制限するライ
センスに基づいて頒布されています。本文書のいかなる部分も、Symantec Corporation
とライセンスから事前に文書による許諾を得ることなく、無断で複製することはできません。

本書は、「現状のまま」提供されるものであり、Symantec Corporation
は、商品価値を有すること、お客様の特定の目的にかなうこと、権利を侵害していないことに対する暗黙的な
保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証すべてから免責されるものとしします。ただし、
これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Symantec Corporation
およびその関連会社は、本書の提供、パフォーマンスまたは使用に関連する付随的または間接的損害に対して
、一切責任を負わないものとしします。Symantec は事前の通知なく本書を変更する権利を留保します。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212
の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、FAR 52.227-19「Commercial Computer
Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial
Computer Software Documentation」、その他の後継規則の規定により制限権利の対象となります。
米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示、開示は
、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとしします。

Symantec Corporation
350 Ellis Street
Mountain View, CA 94043
<http://www.symantec.com>

テクニカルサポート

Symantec テクニカルサポートは、グローバルにサポートセンターを展開しています。テクニカルサポートの主な役割は、製品の特性と機能に関する具体的な問い合わせに対応することです。テクニカルサポートグループは、当社のオンラインナレッジベースの内容作成も行っています。テクニカルサポートグループは、Symantec 内の他部門とも協働して適時にお問い合わせに回答します。たとえば、アラートサービスやウイルス定義更新の提供に関しては、テクニカルサポートグループが製品エンジニアリングおよび Symantec セキュリティ対応と協力して対応します。

Symantec が提供しているメンテナンスサービスには次のようなものがあります。

- あらゆる規模の組織に適したサービスボリュームを柔軟に提供することが可能な各種サポートオプション
- 迅速な対応と最新の情報を提供する、電話および Web ベースのサポート
- 自動ソフトウェアアップグレード保護を提供するアップグレード保障
- 24 時間 365 日利用可能なグローバルサポート
- アカウント管理サービスなどの高度な機能

Symantec のメンテナンスプログラムについては、次の URL の Web サイトをご確認ください：
www.symantec.com/support/

テクニカルサポートへの問い合わせ

有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様は、次の URL でテクニカルサポート情報にアクセスできます：
<http://www.symantec.com/business/support/>

テクニカルサポートに問い合わせる前に、製品文書に記載されているシステム要件が満たされていることを確認してください。

また、問題を再現する必要がある場合には、問題が発生したコンピュータを利用できる状況である必要があります。

テクニカルサポートに問い合わせる際は、下記の情報を用意しておいてください：

- 製品リリースレベル
- ハードウェア情報
- 利用可能なメモリ、ディスク領域、NIC 情報
- オペレーティングシステム
- バージョンとパッチレベル
- ネットワークトポロジー
- ルータ、ゲートウェイ、IP アドレス情報
- 問題の概要
- エラーメッセージとログファイル
- Symantec に問い合わせる前に行ったトラブルシューティング
- 最近行ったソフトウェア構成の変更やネットワークの変更

ライセンスと登録

登録やライセンスキーが必要な Symantec 製品の場合は、次の URL の当社テクニカルサポート Web ページにアクセスしてください: <http://www.symantec.com/business/support/>

カスタマーサービス

カスタマーサービス情報は次の URL から確認できます: www.symantec.com/support/

カスタマーサービスは、次に示す種類の問題のサポートを行います。

- 製品ライセンスまたは直列化に関する質問
- 住所や名前の変更など、製品登録の更新
- 一般的な製品情報 (機能、利用可能な言語、ローカルの販売業者)
- 製品の更新とアップグレードに関する最新情報
- アップグレード保証およびメンテナンス契約に関する情報
- Symantec 購買プログラムに関する情報
- Symantec のテクニカルサポートオプションに関するアドバイス
- ご購入前の技術以外の質問
- CD-ROM またはマニュアルに関する問題

メンテナンス契約のリソース

既存メンテナンス契約に関して Symantec に問い合わせる場合は、下記に示す地域担当のメンテナンス契約管理チームにお問い合わせください。

アジア太平洋と日本	customercare_apac@symantec.com
欧州、中東、アフリカ	customercare_emean@symantec.com
北米と中南米	supportolutions@symantec.com

その他のエンタープライズサービス

Symantec は、Symantec 製品への投資効果を最大化し、お客様が積極的に事業リスクを管理できるようお客様の知識、専門性、グローバルな知見を伸ばすための包括的なサービスを提供しています。

利用可能なエンタープライズサービスには次のようなものがあります。

Symantec 早期警告ソリューション	これらのソリューションは、サイバー攻撃の早期警告、包括的な脅威分析、攻撃の予防対策を提供するものです。
管理セキュリティサービス	これらのサービスでは、セキュリティデバイスやイベントの管理と監視の負担を取り除き、実際の脅威に確実かつ迅速に対応することができます。
コンサルティングサービス	Symantec コンサルティングサービスでは、Symantec および信頼できる Symantec パートナーがオンサイトで専門的技術を提供します。Symantec コンサルティングサービスには、評価、デザイン、実装、監視、管理機能といった、プリパッケージのカスタマイズ可能な各種オプションが含まれています。それぞれ、お客様の IT リソースの整合性と可用性の確立と維持に重点を置いた機能です。
教育サービス	教育サービスでは、様々な技術研修、セキュリティ教育、セキュリティ認証、認知コミュニケーションプログラムを提供しています。

エンタープライズサービスの詳細については、次の URL の当社 Web サイトでご確認ください：

www.symantec.com

サイトのインデックスから国と言語を選択してください。

目次

テクニカルサポート	3
テクニカルサポートへの問い合わせ	3
ライセンスと登録	4
カスタマーサービス	4
メンテナンス契約のリソース	4
その他のエンタープライズサービス	5
DLO7.6の新機能	8
DLO AgentのMac対応	8
バックアップ中止に耐えます	8
オープンファイルバックアップ	8
マルチレベル管理者	8
VIPユーザサポート	8
CPUの優先度	8
ユーザへのアラート通知を送信する	8
自動統合性チェッカー	8
新しいレポート	9
Lotus Notes9.x対応	9
Windows2012 R2に対応	9
Desktop Agentの耐久性	9
DLOサービスの自動再起動	9
Dedupe Storage Locationにあるフォルダの命名規則の変更	9
リモートログがコマンドラインオプションを収集	9
プラットフォーム互換性マトリックス	9
Symantec DLOのダウンロード	10
Symantec DLOをインストールする前提条件	10
ユーザアカウントの権限	10
Symantec DLOのインストール	11
Symantec DLO 7.6 へのアップグレード	11
リモート SQL サーバーの NetBackup DLO データベースのアップグレード	14
Mac上でDesktop Agentをインストールする	14
判明している問題	15
ET3399304	16
ET 2876260	16
ET 2896052	16

ET 3378168.....	16
ET 3537591.....	16
ET 3441283.....	17
Mac Agentで判明している問題.....	17
ET 3211658.....	17
ET 3211601.....	17
ET 3136529.....	17
ET 3546979.....	17
トラブルシューティングのヒント	17
エラー 1321.....	17
VSSによる PST バックアップ.....	18
Windows Vista におけるディレクトリ構造の変更	18
をご確認ください。DLO サービスの開始と停止	19
Desktop Agent.....	19
解決済みの問題	20

DLO7.6の新機能

Symantec DLO は、ソースサイドの重複排除機能を実装した統合バックアップソリューションです。

ここでは、このリリースに搭載されている新機能について簡単に紹介します。

DLO AgentのMac対応

DLOはMacオペレーティングシステム（OS）に対応します。DLO AgentはMac OSがインストールされているデスクトップやノートPCに配備できます。

バックアップ中止に耐えます

DLOはネットワーク障害が発生した場合にバックアップを停止し、バックアップ中断耐性として設定された時間内にネットワークが復旧すればバックアップを再開する新しい機能があります。

オープンファイルバックアップ

DLOは、編集のために開かれ、保存されたファイルが開いたままバックアップに対応します。

マルチレベル管理者

管理者は複数のサブ管理者を作成しいくつかの権限を付与または拒否することができます。

VIPユーザサポート

この機能により管理者はVIPプロフィールに属するユーザ（CEO、執行役員、取締役、役員等）のバックアップデータの表示および復元できなくなります。

しかしながら、管理者はVIPユーザの承認を得れば（緊急復元の場合）データを復元することができます。

CPUの優先度

CPUの優先度は、バックアップジョブが他のアプリケーションを中断することなく実行されるように、Desktop Agentのパフォーマンスを制御するように設定することができます。

ユーザへのアラート通知を送信する

管理者と同様にユーザはバックアップに関する情報を提供するアラート通知を受け取り、動作を復元することができます。

自動統合性チェッカー

自動統合性チェッカー（AIC）機能でdedupeデータの統合性を検証しデータが無効な場合には是正措置をとります。

新しいレポート

次の新しいレポートがDLOのこのバージョンで利用できます。

- **ストレージ統計：** このレポートは指定時間内の重複排除後のストレージの節約量を示しています
- **ガベージコレクション履歴：**
このレポートはガベージコレクションプロセスの実行時期とディスクの空き容量が指定時間内に利用可能になった情報を提供します。
- **最後に成功したバックアップ時間：**
このレポートには、最後に成功したバックアップの時間と、最近成功したバックアップの後にネットワークとローカルバックアップで保留中のファイル数が表示されます。

Lotus Notes9.x対応

DLOはLotus Notes9.xバージョン対応に拡張されました。

Windows2012 R2に対応

DLOはWindows2012 R2バージョンに対応するように拡張されました。

Desktop Agentの耐久性

Desktop Agentはクラッシュの場合には自動的に再起動し、バックアップ障害を発生させません。

DLOサービスの自動再起動

DLOサービスは障害があれば自動的に再起動するように設定されています。

Dedupe Storage Locationにあるフォルダの命名規則の変更

Dedupe Storage

Locationにあるフォルダ名はこれらのフォルダを管理者がユーザフォルダと誤認しないようにコード化されています。

リモートログがコマンドラインオプションを収集

管理者は管理サーバマシン上でRemoteExecuteコマンドを実行しエージェントマシンからログをリモートで取得できます。

プラットフォーム互換性マトリックス

対応するサーバのオペレーティングシステム、エージェント・オペレーティングシステム、オフィス・スイート、SQLサーバ、クラスター・プラットフォームの互換性一覧については *Symantec Desktop and Laptop Option Compatibility Matrix* ドキュメントを参照してください。

Symantec DLOのダウンロード

Symantec DLO 7.6をダウンロードするには次の手順で行います：

1. 一時ディレクトリに該当するファイルをダウンロードします。

Symantec_DLO_76x64.zip

Symantec_DLO_76x86.zip

DLODBRegcreateU.zip(「リモート DLO データベースのインストール」 オプションを使用した NetBackup DLO MP4、MP5A、MP6、MP7 のアップグレードに必要です。)

2. ファイルを解凍するには、zipファイルをダブルクリックします。

これはx64.README、

x86.README、setup.exeを含む多くのファイルを作成するのに役立ちます。

Symantec DLOをインストールする前提条件

- DLOコンポーネントをインストールすることができるように最新サービスパックをインストールする必要があります。
- DLO Database Service の要件
- 最小5GBのハードディスク空き容量
- WMIサービスが実行されている必要があります。
- .NET 3.5 SP1 をインストールする必要があります。 <http://www.microsoft.com/en-in/download/details.aspx?id=22>
- 既存のSQL Serverインスタンス（ローカルまたはリモート）

ユーザアカウントの権限

次の表は各種サービスについてのユーザアカウントの権限を示しています。

サービス	ユーザアカウントの権限	説明
Symantec DLO 管理サービス	ドメインユーザまたはドメイン管理者	このユーザは管理サーバマシンとストレージ・サーバ両方でローカル管理者権限を持っている必要があります。
Symantec DLO メンテナンスサービス	ローカルシステムアカウント	このアカウントはすべてのローカルシステムリソースにアクセスできます。
Mindtree Storesmart Dedupeサーバサービス	ドメインユーザまたはドメイン管理者	このユーザは管理サーバ・マシンのローカル管理者権限を持っている必要があります。 このアカウントはSQL Serverサービスアカウントと同じでなければなりません。
SQL Server (SQLインスタンス)	ドメインユーザまたはドメイン管理者	このユーザには、SQL Serverマシンとストレージ・サーバの両方でローカル管理者権限を持っている必要があります。
SQL Server ブラウザ	ドメインユーザまたはドメイン管理者	このユーザは、SQL Serverマシンのローカル管理者権限を持っている必要があります。

Symantec DLOのインストール

インストールパッケージは新しいDLO管理サーバーとSymantec DLO 7.6の必要な他のコンポーネントをインストールするために使用されます。手順については *Symantec Desktop and Laptop Option Administrator's Guide* を参照してください。

Symantec DLO 7.6 へのアップグレード

DLO では、次に挙げる以前のバージョンからのアップグレードがサポートされます。

- Symantec DLO 7.0
- Symantec DLO7.5と7.5 SP1
- BackupExec-DLO 2010 R3
- NetBackup DLO 6.1 MP7

上記のバージョン以外で、DLO (NetBackup DLO または BackupExec DLO) の以前のリリースを使用している既存のユーザーについては、段階的なアップグレードをサポートしています。つまり、このユーザーはDLO の既存のバージョンをまず Symantec DLO 7.0 にアップグレードして、さらにそれを Symantec DLO 7.6 にアップグレードする必要があります。

注：

すべての機能が正常に動作するようにDLOのコンポーネントをすべてアップグレードすることをお勧めします。

データベーススキームのアップグレード

DLO7.5または7.5

SP1からアップグレードする場合は、DLO7.6にアップグレードする前にDLODBUpgradeU.exeユーティリティを実行してDedupeデータベースをアップグレードする必要があります。。

このユーティリティを実行しないとDLOのアップグレードはできません。

次のいずれかの方法を使用してデータベーススキームをアップグレードできます：

時間モード

- この方法では、ダウンタイムは、空間モードと比較すると、半分以下です。
- アップグレードは空間モードより二倍速いです。
- アップグレードが完了するまで古いデータが保存されているのでアップグレードに必要なディスク容量は空間モードより二倍必要です。
- これはデフォルトのアップグレード方法です。

空間モード

- DBスキームのアップグレード中に完全停止時間があります。
- アップグレード時に必要なディスク容量は時間モードの半分です。

- アップグレード中にディスク領域の最適な使用を希望する場合は空間モードを選択します。
- SQL Express serversでは空間モードを推奨します。

アップグレードは2段階で行われます：

インストール前： 新しいスキーム形式で既存データを準備する。

- 時間モードでは、インストール前に停止時間はありません。
この段階で実行されるバックアップはデルタバックアップとして取得されます。
- 空間モードではこの段階で完全停止時間が発生します。

インストール後： インストール前段階の後に実行します。

- インストール前に特定されたデルタバックアップ（時間モードのみ）は新しいスキーム形式に変換されません。
- 時間と空間モードの両方でこの段階では完全停止時間が発生します。

障害処理

時間モード：

インストール前に障害が発生した場合、管理者はこのツールを再度実行する必要があるため、アップグレード・ユーティリティが自動的に是正措置を実行します。

インストール後に障害が発生した場合、このコマンドを実行します： `DLODBUpgradeU.exe -Cleanup`

空間モード： インストール前または後に故障した場合、手動でこれらのタスクを実行します。

- データベースを削除します。
- バックアップパスからデータベースを復元します。

データベーススキームをアップグレードするには：

前提条件： アップグレード前にデータベースをバックアップする必要があります。

手動でバックアップを取るか `DLODBUpgradeU.exe` にデータベースをバックアップさせることができます。

1. DLOインストーラパッケージにある **DBSchemaUpgrade** フォルダに移動します。
2. **Upgrade_Scripts** フォルダにある `DLODBUpgradeU.exe`（マシンにより32ビットまたは64ビット）ファイルをコピーし、DLO管理サーバーがインストールされているコンピュータのDLOインストーラパスに貼り付けます。
3. 管理者権限でコマンドプロンプトを開きます。
4. DLOインストーラパスに移動し、このコマンドを実行してデータベースをアップグレードします。：


```
DLODBUpgradeU.exe -upgrade <mode> [SQL Server Name]
[DLODBInstance] [DedupeDBInstance]
<mode> = TIME or SPACE
```
5. 次のセクションの説明に従いアップグレードを続行します。

追加のコマンドラインオプション

```
DLODBUpgradeU.exe -Cleanup [SQL Server Name] [DedupeDBInstance]
```

(時間モードのみに適用される) このコマンドは、前のアップグレード・コマンドで実行されたインストール前の変更を元に戻すために使用されます。

使用するケース： インストール後に障害が発生した場合-Cleanupコマンドを使用することができます。

```
DLODBUpgradeU.exe -Status [SQL Server Name] [DedupeDBInstance]
```

このコマンドはDBアップグレードのステータスを取得する時に使用します。

使用するケース： 管理者はこのコマンドを実行して、DBアップグレードのステータスを把握できます。

```
DLODBUpgradeU.exe -SetMultiUser [SQL Server Name] [DedupeDBInstance]
```

このコマンドは、Dedupe DBアクセスをマルチユーザ・モードに設定する時に使用します。

使用するケース： DLODBUpgradeU.exeが実行されるとDedupe DBアクセスはシングルユーザモードに変更されます。

インストール後アップグレードが突然終了した場合は、SQLサービスを再起動しこのコマンドを実行して、Dedupe DBアクセスをマルチユーザモードに設定します。

注： []で囲まれたパラメータはオプションです。

ユーティリティはレジストリからこれらのパラメータを自動的に取得します。

レジストリを使用できない場合、管理者はこれらのパラメータを入力するように求められます。

デフォルトSQLインスタンスについてはSQL Server名のみ指定します。

**以前のバージョンのDLO からSymantec DLO 7.6
にアップグレードするためには、次の手順に従ってください。**

1. **.setup.exe** を実行し、インストールウィザードを開始します。
2. 「次へ」(Next) をクリックします。
3. 使用許諾契約を読み、条項に同意する場合は「**本使用許諾契約の条項を承諾します**」(I accept the terms in the license agreement) を選択します。
4. 「次へ」(Next) をクリックします。
5. DLO7.6はDedupe機能付きなのでダイアログが表示されてDedupe管理サービスをインストールするように求められます。必要であれば、チェックを付けて「次へ」(Next) をクリックします。
6. インストールを進めます。

注： インストールの過程で、SQLサービスの開始に失敗したというダイアログが表示される可能性があります。この場合、「**無視する**」(Ignore) をクリックして続行します。

7. インストールが完了したら、「終了」(Finish) をクリックします。

リモート SQL サーバーの NetBackup DLO データベースのアップグレード

DLO 6.1 MP4、MP5、MP5A、MP6、または MP7 がインストールされている場合、およびリモート SQL サーバーに DLO データベースがインストールされている場合は、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』の「リモート SQL サーバーの DLO データベースのアップグレード」のセクションを参照してください。

Mac上でDesktop Agentをインストールする

管理者権限を持つユーザはDesktop Agentをインストールできます。 Desktop AgentがMacのデスクトップにインストールされたら、そのデスクトップにログオンする全員がDesktop Agentを使用することができます。 ログオンしたユーザのみログオンアカウントに関連付けられたDLOバックアップファイルにアクセスできます。

DLOはドメインアカウントが必要です。 すべてのDesktop Agentユーザはドメインアカウントを使用しDLOにログインする必要があります。

前提条件

MacマシンにDesktop Agentをインストールする前に次のタスクを完了します。

1. DLO 管理サーバをWindowsサーバマシンにインストールし設定します。
2. DLO管理者はTCP/IPプロトコルがDBインスタンスに対して有効でありポート番号が設定されていることを確認する必要があります。
3. DBサーバ (ONまたはOFF) でのファイアウォールの状態に関係なく、管理者は**SQL Server設定マネージャ > SQL Serverネットワーク構成 > “<インスタンス名>プロトコル” > TCP / IPプロトコルSettings > TCPポートにDBポートを入力する必要があります (SQL Server Configuration Manager > SQL Server Network Configuration > “Protocols for <Instance name>” > TCP/IP Protocol Settings > TCP Port)**。
4. ファイアウォールがDBサーバでONであれば、このポートはファイアウォール例外リストにも含まれています。
5. また、DBポート番号の指定後DLO DBサービスを再起動します。

注：

DBサーバとの通信デフォルトポートは1433です。テルネットを使用しDBサーバとの通信を確認してください。 (例、telnet <IP> <port>.)

MacにDesktop Agentをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Desktop Agentのインストール先デスクトップから、デスクトップのメニューオプションに進み **検索 (Finder)** を選択してください。
2. **検索(Go) >サーバーに接続 (Connect to Server)** を選択します。
3. サーバアドレス・(**ServerAddress**)フィールドに次のいずれかの形式を使用してDLOサーバのネットワークアドレスを入力します。
 - a. **smb://IPAddress/**
 - b. **smb://DNSname/**
4. **接続(Connect)** をクリックします。

注：また、共有名smb://IPAddress/DLOMacAgentと一緒にサーバアドレスを入力することもできます。

5. 共有フォルダー一覧から**DLOMacAgent**フォルダを開き、ローカルマシンにMac用の**setup.ini**とインストーラパッケージをコピーします。
6. ファイル**Symantec_DLO_Agent.pkg**をダブルクリックします。
7. ようこそ画面で**続行(Continue)** をクリックします。
8. ライセンス契約を読み**続行(Continue)** をクリックします。
9. **同意する (Agree)** をクリックします。
10. Mac用のデフォルトインストールパス：**/Applications**. 別の場所にDesktop Agentをインストールするには、インストール場所変更 (Change Install Location) ボタンをクリックし、次のいずれかを実行します。
 - a. デフォルトの場所にDesktop Agentをインストールするには、すべてのユーザについてインストールを選択するか (**Install for all users**)、または
 - b. デフォルト起動ディスク以外のディスクにインストールするには、特定のディスクにインストール (**Install on a specific disk**) を選択します。任意の追加ハードディスクやローカルMacマシンのハードドライブのパーティションにDesktop Agentをインストールしたい場合に便利です。
11. **続ける(Continue)** をクリックします。
12. **インストール(Install)** をクリックします。
13. インストールが完了したら閉じる (**Close**) をクリックします。

Mac上でAgentを起動して設定する詳細については、Symantecデスクトップ・ラップトップ管理者ガイドを参照してください。

判明している問題

このセクションでは、DLO7.6における既知の問題について説明します。問題はET番号（ソフトウェアバグ追跡番号）に基づいて一覧されています。

ET3399304

説明：バックアップジョブの進行中にネットワークが切断され、しばらくしてからDesktop Agentがまだバックアップ中断耐性（BIT）モードのときにネットワーク接続が回復すると、次のエラーメッセージが表示されます：24049 -ネットワーク障害が見つからないのにデータが書き込まれました。

説明： ネットワーク接続がBITモードで復元された後Dedupeはファイルのデータ統合性を検証します。ネットワークエラーのためにネットワーク障害前にバックアップされたデータが損失すると、このメッセージが表示されます：

回避方法： バックアップジョブが再び開始され、ジョブは完了します。

ET 2876260

説明： BitLocker ドライブのロック解除後すぐに Desktop Agent がファイルをバックアップしない。

回避方法： BitLocker ドライブのロック解除後に、Desktop Agent を更新して BitLocker 暗号化ドライブに行った変更を有効にします。

ET 2896052

説明： IPv6環境でのリモートDBのセットアップでは管理サーバからコマンドラインは使用できません。

回避方法： リモートデータベースマシンのホスト名を提供し、`DLOCommandu.exe -C`を実行します。

ET 3378168

説明： PSTファイルのMAPIバックアップはこのエラーメッセージを表示し失敗します：
「バックアップPSTファイルが破損しています。
このファイルは破棄され、元のPSTが再びバックアップされます。」

説明： PSTバックアップが再開されるのでこのエラーメッセージは無視できます。

ET 3537591

説明： 段階セットアップでDLO7.5 SP1をアップグレードするときDedupサーバが残りのDLOコンポーネントをアップグレードする前にアップグレードされた場合、Mindtree Storesmart Dedupeサーバサービスは「停止」状態になります。

回避方法：
最初に管理サーバをアップグレードしてから食い違的な設定で残りのコンポーネントをアップグレードすることをお勧めします。

上記の問題を解決するには、手動でMindtree Storesmart Dedupe サーバ・サービスを再起動します。

ET 3441283

説明：サブ管理者は「プロファイルの追加/変更」権限を持っていますが - IOProfileコマンドを使用してプロファイルをインポートすることはできません。

説明：サブ管理者はプロファイルをインポートすることができません。

Mac Agentで判明している問題

ET 3211658

説明：インストーラウィザードでオプションの「すべてのユーザに対してインストール」 ("Install for all the users) "がデフォルトではハイライト表示されていても続行ボタンが消えている問題。

回避方法：「すべてのユーザに対してインストール」 ("Install for all the users") オプションをダブルクリックしインストールを続行します。

ET 3211601

説明：LUDF (.dlo と .Settings) フォルダはMac Agentのアンインストールによってはパージされません。

説明：ユーザは手動でフォルダをパージする必要があります。

ET 3136529

説明：DLO ClientのヘルプページがAgentのユーザインターフェイスの後に表示される。

説明：Macではデフォルトでこうなります。

ET 3546979

説明：NUDFが削除された場合、DLO Mac Agentはオフラインになり、その後のバックアップと復元ジョブは行われません。

回避方法：DLO管理コンソールからユーザを削除してから、Mac Agentを起動します。

トラブルシューティングのヒント

ここでは、アプリケーション使用時に起こる可能性のあるいくつかの問題について説明しています。問題解決のための分かりやすい説明やヒントを記載しています。

エラー 1321

DLO インストーラに次のエラーメッセージが表示される。
"エラー1321. インストーラに、C:\ProgramFiles\Symantec\Symantec DLO\Data\DLO.mdfのファイルを修正する権限がありません。"

説明

このエラーは、DLO サーバーをアンインストールしてから SQL Server 2005 データベースを使用して同じ場所に再インストールしようとした場合に発生します。

DLO サーバーをアンインストールしても、データベースファイル (*DLO.mdf* と *DLO_log.ldf*) は削除されません。DLO サーバーを再インストールしようとする、DLO インストーラは新しいバージョンをインストールせずに古いデータベースファイルを使用します。これらのファイルを使用するには、完全な権限が必要になります。

一般的に、管理者はこれらのファイルを使用する完全な権限を持っています。ただし、それでもエラーは発生する可能性があります。

解決策

各ファイルに以下の変更を行います。

1. ファイルを右クリックして **[プロパティ]** (Properties) を選択します。
2. **[セキュリティ]** (Security) タブで、管理者グループに完全な権限を付与してください。

VSS による PST バックアップ

ユーザーに VSS 機能が有効化されているのに、DLO Agent で VSS を使用して PST ファイルのバックアップを行うことができない。

解決策

ユーザーのシステムでボリュームシャドウコピーサービスが有効化されていることを確認します。

VSS サービスが有効であれば、PST ファイルは FAT32 ドライブ上にある可能性があります。VSS 有効バックアップは FAT32 ファイルシステムではサポートされていません。

Windows Vista におけるディレクトリ構造の変更

Windows Vista および Windows Server 2008 をサポートしている Windows サーバーの Backup Exec のバージョンで、`%SystemDrive%\Users` フォルダにあるデータをバックアップするのに `%SystemDrive%\Documents and Settings` ジャンクションポイントを公差しない。

解決策

ユーザデータがあるデフォルトの場所が、マイクロソフト Windows Vista と Windows サーバ 2008 の中で変更されました。以前の Windows プラットフォームとの下位互換性を確保するため、これらのオペレーティングシステムは特殊なジャンクションを作成します。これらのジャンクションは、あるディレクトリから別のディレクトリへのアクセスをリダイレクトするものです。たとえば、`%SystemDrive%\Documents and Settings` は `%SystemDrive%\Users` を示すジャンクションです。詳細については: <http://www.symantec.com/docs/TECH51361>

をご確認ください。DLO サービスの開始と停止

DLO には、すべてのサーバーコンポーネントサービスを開始と停止するための 2 つのユーティリティがあります。

下記のサービスは開始と停止が可能です。

- Symantec DLO 管理サービス
- Symantec DLO メンテナンスサービス
- SQL Server (DLO)
- SQL Server (Dedupe)
- Mindtree Storesmart Dedupe サービス

ユーティリティは次のインストール場所にあります: C:\Program Files\Symantec\Symantec DLO

- すべてのサービスを開始する場合は DLOStartsvc.bat を実行します。
- すべてのサービスを停止する場合は DLOStopsvc.bat を実行します。

分散サーバーコンポーネントセットアップの場合は、次を行います:

DLO SQL

サービスを停止する場合はこれらのサービスをリモートデータベースマシン上で、管理およびメンテナンスのサービスを停止する場合は対応するマシン上で実行します。

Desktop Agent

ジョブが DLO Agent UI で開始されても、空のフォルダはバックアップされません。

解決済みの問題

ET 番号	説明
2694457	Windows 7とWindows Vistaの両方とも、ネットワークスロットリングがDLO管理コンソールのスロットリングタブ設定値に従って動作しません。
2798595	Agent 操作はログインユーザアカウントではなく管理者アカウントで実行されます。
2949047	Agent がMP7からDLO7.5にアップグレードされると、カスタム化バックアップ選択は保持されません。
3111153	バックアップが正常に終了した後、ローカルユーザデータフォルダのサイズはLUDF改訂がゼロに設定されていても使用されます。
3222318	ストレージ位置を移行した後の使用詳細ウィンドウに表示されるデータが適切ではありません。
3384437	DLO Agentでは、ステータスは実際の日付と時刻ではなく「ジョブは予定通り実行中」と表示されます。
3444021	DLO Agentがリフレッシュまたは再起動されると、バックアップジョブはスケジュール通りに実行されません。
3260397	「ユーザ当たりストレージ消費量」レポートにNUDFデータサイズだけが表示されます。
3207678	アラートや通知はユーザのサマリーと件名無く送信されます。
3517724	これらの復元後にPSTファイルを開けません。
3443784	DLO7.5 SP1管理コンソールが、ユーザバックアップの履歴ログを表示するとき、「エラーV-138-57364-18、未処理の例外」エラーを表示します。
3443777	DLO Agentが無効で次のエラーメッセージが表示されます。「Dedupeエンジンの初期化に失敗しました。システム管理者に連絡してください。」
3331723	数文字の中国語文字がDLO7.5日本語GUIに表示されます。
3443766	DLO7.5では、バックアップジョブが「ネットワーク保留中」ステータスで停止します。メモリ使用率はDLOAdminsvcuプロセスのため高くなります。
3503814	Keytestコマンドは追加スイッチを含みます。